

薬学教育モデル・コアカリキュラム (案)

【前回検討会以降の修正見え消し】

- A 基本事項
- B 薬学と社会
- C 薬学基礎
- D 衛生薬学
- E 医療薬学
- F 薬学臨床
- G 薬学研究

平成25年12月

目次

A 基本事項	1
B 薬学と社会	5
C 薬学基礎	8
C1 物質の物理的性質	8
C2 化学物質の分析	11
C3 化学物質の性質と反応	14
C4 生体分子・医薬品の化学による理解	18
C5 自然が生み出す薬物	21
C6 生命現象の基礎	23
C7 人体の成り立ちと生体機能の調節	28
C8 生体防御と微生物	30
D 衛生薬学	34
D1 健康	34
D2 環境	36
E 医療薬学	39
E1 薬の作用と体の変化	39
E2 薬理・病態・薬物治療	41
E3 薬物治療に役立つ情報	55
E4 薬の生体内運命	59
E5 製剤化のサイエンス	61
F 薬学臨床	64
G 薬学研究	74

A 基本事項

(1) 薬剤師の使命

GIO 医療と薬学の歴史を学ぶ認識するとともに、国民の健康管理、医療安全、薬害防止における役割を理解し、薬剤師としての使命感を身につける。

【①医療人として】

1. 常に患者・生活者の視点に立ち、医療の担い手としてふさわしい態度で行動する。(態度)
2. 患者・生活者の健康の回復と維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。(態度)
3. チーム医療や地域保健・医療・福祉を担う一員としての責任を自覚し行動する。(態度)
4. 患者・患者家族・生活者が求める医療人について、自らの考えを述べる。(知識・態度)
5. 生と死を通して、生きる意味や役割について、自らの考えを述べる。(知識・態度)
6. 一人の人間として、自分が生きている意味や役割を問い直し、自らの考えを述べる。(知識・態度)
7. 様々な死生観・価値観・信条等を受容することの重要性について、自らの言葉で説明する。(知識・態度)

【②薬剤師が果たすべき役割】

1. 患者・生活者のために薬剤師が果たすべき役割を自覚する。(態度)
2. 薬剤師の活動分野（医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政など等）と社会における役割について説明できる。
3. 薬剤師が医薬品の適正使用において果たすべき役割における薬剤師の役割とファーマシューティカルケアについて説明できる。
4. 医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。
患者中心のファーマシューティカルケアにおける薬剤師が果たすべき役割を説明できる。
5. 医薬品の創製（研究開発、生産等）における薬剤師の役割について説明できる。
6. 健康管理、疾病予防、セルフメディケーション及び公衆衛生における薬剤師の役割について説明できる。
7. 自殺防止、薬物乱用防止、自殺防止における薬剤師の役割をについて説明できる。
8. 現代社会が抱える課題（少子・超高齢社会等）に対して、薬剤師が果たすべき役割を提案する。(知識・態度)

【③医療安全患者安全と薬害の防止】

1. 医薬品のリスクを認識し、患者を守る責任と義務を自覚する。(態度)
2. WHOによる患者安全の考え方について概説できる。
3. ~~2.~~ 医薬品医療に関わる関するリスクマネジメントにおいてにおける薬剤師の責任と義務を説明できる。
4. ~~3.~~ 医薬品が関わる代表的な医療過誤やインシデントの事例を列举し、その原因と防止策を説明できる。
5. ~~4.~~ 重篤な副作用の例について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。(知識・態度)

6. ~~5.~~ 代表的な薬害の例（サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジンなど等）について、その原因と社会的背景及びその後の対応を説明できる。
7. ~~6.~~ 代表的な薬害について、患者や家族の苦痛を理解し、これらを回避するための手段を討議する。（知識・態度）

【④薬学の歴史と未来考え方】

1. 薬学の歴史的な流れと医療において薬学が果たしてきた役割をについて説明できる。
医薬品の効果が確率論的であることを説明できる。※【薬剤師が果たすべき役割】に移動。
2. 薬物療法の歴史と、人類に与えてきた影響について説明できる。
3. 薬剤師の誕生とから現在までの役割の変遷の歴史（医薬分業を含む）をについて説明できる。
4. 将来の薬剤師と薬学が果たす役割について討議する。（知識・態度）

(2) 薬剤師に求められる倫理観

GIO 倫理的問題に配慮して主体的に行動するために、生命・医療に係る倫理について学び観を身につけ、医療の担い手としての感性を養う。

【①生命倫理】

1. 生命の尊厳について、自らの言葉で説明できる。（知識・態度）
2. 生命倫理の諸原則（自律尊重、無危害、善行、正義等）について説明できる。
3. ~~2.~~ 生と死に関わる倫理的問題について討議し、自らの考えを述べる。（知識・態度）
4. ~~3.~~ 科学技術の進歩、社会情勢の変化に伴う生命観の変遷をについて概説できる。

【②医療倫理】

1. 医療倫理に関する規範（~~ヘルシンキ~~ジュネーブ宣言等）について概説できる。
2. 薬剤師が遵守すべき倫理規範（薬剤師綱領、薬剤師倫理規程規定等）について説明できる。
3. 医療の進歩に伴う倫理的問題をについて説明できる。

【③患者の権利】

1. 患者の価値観、人間性に配慮することの重要性を認識する。（知識・態度）
2. 患者の基本的権利の内容（リスボン宣言等）をについて説明できる。（知識・態度）
3. 患者の自己決定権とインフォームドコンセントの意義をについて説明できる。（知識・態度）
4. 知り得た情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いができる。（知識・技能・態度）

【④研究倫理】

1. 臨床研究における倫理規範（ヘルシンキ宣言等）について説明できる。
2. ~~1.~~ 「ヒトを対象とする研究において遵守すべき倫理指針」について概説できる。
~~2.~~ 自らが実施する研究に係る倫理規範について概説できる。
3. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。（知識・技能・態度）
（*2の削除、1の追加：Gでの表記では「自らが実施する研究」に限定されていたが、Aへ移動したた

め、コアとして理解しておく必要がある倫理規範の具体例について明示するため)

(3) 信頼関係の構築

GIO 患者・生活者、他の職種との対話を通じて相手の心理、立場、環境を理解し、信頼関係を構築するために役立つ能力を身につける。

【①コミュニケーション】

1. 意思、情報の伝達に必要な要素について説明できる。
2. 言語的及び非言語的コミュニケーションについて説明できる。
3. 相手の立場、文化、習慣など等によって、コミュニケーションのあり方在り方が異なることを例を挙げて説明できる。
4. 対人関係に影響を及ぼす心理的要因をについて概説できる。
5. 相手の心理状態とその変化に配慮し、対応する。(知識・技能・態度)
6. 自分の心理状態を意識して、他者と接することができる。(態度)
7. ~~6.~~適切な聴き方、質問を通じて相手の考えや感情を理解することように努める。(技能・態度)
8. ~~7.~~適切な手段により自分の考えや感情を相手に伝えることができる。(技能・態度)
9. ~~8.~~対立他者の意見を尊重し、協力してよりよい解決法を見出すことができる。(知識・技能・態度)

【②患者・生活者と薬剤師】

1. 患者や家族、周囲の人々の心身に及ぼす病気やケアの影響について説明できる。
2. 生活者・患者・家族・生活者の心身の状態や多様な価値観に配慮して行動できるする。(知識・技能・態度)

(4) 多職種連携協働とチーム医療

GIO 医療・福祉・行政・教育機関及び関連職種の連携の必要性を理解し、チームの一員としてのあり方在り方を学ぶ身につける。

1. 保健、医療、福祉、介護における多職種連携協働及びチーム医療の意義について説明できる。
2. 多職種連携協働に関わる薬剤師、各職種及び行政の役割をについて説明できる。
3. チーム医療に関わる薬剤師、各職種、患者・家族の役割をについて説明できる。
4. 自己の能力の限界を認識し、状況に応じて他者に協力・支援を求める。(知識・技能・態度)
5. チームワークと情報共有の重要性を理解し、チームの一員としての役割を積極的に果たすように努める。(知識・技能・態度)

(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成

GIO 生涯にわたって自ら学ぶことの必要性・重要性を理解し、修得した知識・技能・態度を確実に次世代へ継承する意欲と行動力を身につける。

【①学習の在り方】

1. 医療・福祉・医薬品に関わる問題、社会的動向、科学の進歩に常に目を向け、自ら課題を見出し、解決に向けて努力する。(知識・~~技能~~・態度)
2. 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。(技能)
3. 必要な情報を的確に収集し、信憑性について判断できる。(知識・技能・~~態度~~)
4. 得られた情報を論理的に統合・整理し、自らの考えとともに分かりやすく表現できる。(技能・~~態度~~)
5. インターネット上の情報が持つ意味・特徴を知り、情報倫理、情報セキュリティに配慮して活用できる。(知識・態度)

【②薬学教育の概要】

1. 「薬剤師として求められる基本的な資質」について、具体例を挙げて説明できる。~~-(知識・態度)-~~
2. 薬学が総合科学であることを認識し、薬剤師の役割と学習内容を関連づけることができる。(知識・態度)

【③生涯学習】

1. 生涯にわたって自ら学習する重要性を認識し、その意義をについて説明できる。~~-(知識・態度)-~~
2. 生涯にわたって継続的に学習するために必要な情報を収集できる。(技能)

【④次世代を担う人材の育成】

1. 薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるように努める。(態度)
2. 後輩等への適切な指導がを実践できるする。(技能・態度)

B 薬学と社会

GIO 人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動するために、保健・医療・福祉に係る法規範・制度・経済、及び地域における薬局と薬剤師の役割を理解し、義務及び法令を遵守する態度を身につける。

(1) 人と社会に関わる薬剤師

GIO 人と社会に関わる薬剤師として自覚を持って行動できるようになるために、人の行動や考え方、社会の仕組みを理解し、人・社会と薬剤師の関わりを認識する。

1. 人の行動がどのような要因によって決定されるのかをについて説明できる。
2. 人・社会が医薬品に対して抱く考えや思い、考え方（思い）の多様性について討議するを理解する。
(態度)
3. 人・社会の視点から薬剤師を取り巻く様々な仕組みと規制について討議考察する。(態度)
4. 薬剤師が倫理規範や法令を守ることの重要性について討議する。(知識・態度)
5. 倫理規範や法令に則した行動を取る。(態度)

(2) 薬剤師と医薬品等に係る法規範

GIO 調剤、医薬品等（医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品）の供給、その他薬事衛生に係る任務を薬剤師として適正に遂行するために必要な法規範とその意義について学ぶを理解する。

【①薬剤師の社会的位置づけと責任に係る法規範】

1. 薬剤師に関わる法令とその構成をについて説明できる。
2. 薬剤師免許に関する薬剤師法の規定について説明できる。
3. 薬剤師の任務や業務に関する薬剤師法の規定とその意義について説明できる。
4. 薬剤師以外の医療職種の免許と役割、任務に関する法令の規定について概説できる。
5. 医療の理念と医療の担い手の責務に関する医療法の規定とその意義について説明できる。
6. 医療提供体制に関する医療法の規定とその意義について説明できる。
7. 個人情報の取扱いについて概説できる。
8. 薬剤師の刑事責任、民事責任（製造物責任を含む）について概説できる。

【②医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範】

1. 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」薬事法の目的及び医薬品等（医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器、再生医療等製品）の定義をについて説明できる。
2. 医薬品の開発から承認までのプロセスと法規範をについて概説できる。
3. 医薬品の治験の意義と仕組みについて概説できる。
4. 医薬品等の製造販売及び製造に係る法規範について説明できる。
5. 製造販売後調査制度及び製造販売後安全対策について説明できる。

6. 薬局、医薬品販売業及び医療機器販売業に係る法規範について説明できる。
7. 医薬品等の取扱いに関する「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」薬事法の規定について説明できる。
8. 日本薬局方の意義と構成について説明できる。
9. ~~8~~ 生物由来製品の取扱いと血液供給体制に係る法規範について説明できる。
10. ~~9~~ 健康被害救済制度について説明できる。
11. ~~10~~ レギュラトリーサイエンスの必要性和意義について説明できる。

【③特別な管理を要する薬物等に係る法規範】

1. 麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の取扱いに係る規定について説明できる。
2. 覚醒剤、大麻、あへん、指定薬物等の乱用防止規制について概説できる。
3. 毒物劇物の取扱いに係る規定について概説できる。

(3) 社会保障制度と医療経済

GIO 社会保障制度のもとで提供される医療と福祉について、現状と課題を認識するとともに、薬剤師が担う役割とその意義を学ぶ理解する。

【①医療、福祉、介護の制度】

1. 日本の社会保障制度の枠組みと特徴について説明できる。
2. 医療保険制度について説明できる。
3. ~~5~~ 療養担当規則について説明できる。
4. 公費負担医療制度について概説できる。
5. ~~3~~ 介護保険制度について概説できる。
6. ~~②2~~ 薬価基準制度について概説できる。
7. ~~②5~~ 調剤報酬、診療報酬及び介護報酬の仕組みについて概説できる。

(※②から2項目を移動)

【②医薬品と医療の経済性】

1. 医薬品の市場の特徴と流通の仕組みをについて概説できる。
2. ~~4~~ 国民医療費の動向をについて概説できる。
3. 後発医薬品とその役割について説明できる。
4. ~~6~~ 薬物療法の経済評価手法をについて概説できる。

(※①へ2項目を移動)

(4) 地域における薬局と薬剤師

GIO 地域の保健、医療、福祉について、現状と課題を認識するとともに、その質を向上させるための薬局及び薬剤師の役割とその意義を学ぶ理解する。

【①地域における薬局の役割】

1. 地域における薬局の機能と業務について説明できる。
2. ~~1~~-医薬分業の意義と動向を説明できる。
3. ~~2~~-かかりつけ薬局・薬剤師による薬学的管理の意義をについて説明できる。
4. ~~3~~-セルフメディケーションにおける薬局の役割について説明できる。
5. ~~4~~-災害時の薬局の役割について説明できる。
6. ~~5~~-医療費の適正化に薬局が果たす役割について説明できる。

【②地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師】

1. 地域包括ケアシステムの理念について説明できる。
2. 在宅医療及び居宅介護における薬局と薬剤師の役割について説明できる。
3. 学校薬剤師の役割について説明できる。
4. 地域の保健、医療、福祉において利用できる可能な社会資源について概説できる。
5. 地域から求められる医療提供施設、福祉施設及び行政との連携について討議する。(知識・態度)

C 薬学基礎

C1 物質の物理的性質

GIO 化学物質の基本的物理的性質を理解するために、原子・分子の構造、熱力学、反応速度論などのに関する基本的事項知識を修得し、それらを用いる技能を身につける。

(1) 物質の構造

GIO 物質を構成する基本単位である原子および分子原子・分子の性質を理解するために、原子構造、分子構造、および化学結合に関する基本的事項知識を修得する。

【①化学結合】

1. 化学結合の様式について説明できる。
2. 分子軌道の基本概念および軌道の混成について説明できる。
3. 共役や共鳴の概念を説明できる。

【②分子間相互作用】

1. ~~静電相互作用について例を挙げて説明できる。~~ファンデルワールス力について説明できる。
2. ~~ファンデルワールス力について例を挙げて説明できる。~~静電相互作用について例を挙げて説明できる。
3. 双極子間相互作用について例を挙げて説明できる。
4. 分散力について例を挙げて説明できる。
5. 水素結合について例を挙げて説明できる。
6. 電荷移動相互作用について例を挙げて説明できる。
7. 疎水性相互作用について例を挙げて説明できる。

【③原子・分子の挙動】

1. 電磁波の性質および物質との相互作用を説明できる。
2. 分子の振動、回転、電子遷移について説明できる。
3. 電子や核のスピンとその磁気共鳴について説明できる。
4. 光の屈折、偏光、および旋光性について説明できる。
5. 光の散乱および干渉について説明できる。
6. 結晶構造と回折現象について説明概説できる。

【④放射線と放射能】

1. 原子の構造と放射壊変について説明できる。
2. 電離放射線の種類を列挙し、それらの性質および物質との相互作用について説明できる。
3. 代表的な放射性核種の物理的性質について説明できる。

- 核反応および放射平衡について説明できる。
- 放射線測定の原理と利用について概説できる。

(2) 物質のエネルギーと平衡

GIO 物質の状態および相互変換過程を理解するために、熱力学をに関する基本的事項知識を修得する。

【①気体の微視的状态と巨視的状态】

- ファンデルワールスの状態方程式について説明できる。
- 気体の分子運動とエネルギーの関係について説明できる。
- エネルギーの量子化とボルツマン分布について説明できる。

【②エネルギー】

- 熱力学における系、外界、境界について説明できる。
- 熱力学第一法則を説明できる。
- 状態関数と経路関数の違いを説明できる。
- 定圧過程、定容過程、等温過程、断熱過程を説明できる。
- 定容熱容量および定圧熱容量について説明できる。
- エンタルピーについて説明できる。
- 定圧条件下での化学変化に伴う熱の出入りエンタルピー変化について説明できる。

【③自発的な変化】

- エントロピーについて説明できる。
- 熱力学第二法則について説明できる。
- 熱力学第三法則について説明できる。
- ギブズエネルギーについて説明できる。
- 熱力学関数を使い、自発的な変化の方向と程度を予測できる。

【④化学平衡の原理】

- ギブズエネルギーと化学ポテンシャルの関係を説明できる。
- ギブズエネルギーと平衡定数の関係を説明できる。
- 平衡定数の温度依存性に及ぼす圧力および温度の影響について説明できる。
- 共役反応の原理について説明できる。

~~(3) 溶液の性質と電気化学~~

GIO ~~複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する基本的知識を修得する。~~

【④⑤相平衡】

1. 相変化に伴う熱の移動について説明できる。
2. 相平衡と相律について説明できる。
3. 状態図について説明できる。
4. ~~希薄溶液の束一的性質について説明できる。~~

【②⑥電解質溶液の性質】

1. 希薄溶液の束一的性質について説明できる。
2. 活量と活量係数について説明できる。
3. 電解質溶液の電気伝導率およびモル伝導率の濃度による変化を説明できる。
4. イオン強度について説明できる。

【③⑦電気化学】

1. 起電力とギブズエネルギーの関係について説明できる。
2. ~~代表的な化学電池の種類とその構成について説明できる。~~電極電位（酸化還元電位）について説明できる。
3. ~~濃淡電池について説明できる。~~

(43) 物質の変化

GIO 物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①反応速度】

1. 反応次数と速度定数について説明できる。
2. 微分型速度式を積分型速度式に変換できる。(知識・技能)
3. 代表的な反応次数の決定法を列挙し、説明できる。
4. 代表的な(擬)一次反応の反応速度を測定し、速度定数を求めることができる。(技能)
5. 代表的な複合反応(可逆反応、平行反応、連続反応、~~酵素反応~~など)の特徴について説明できる。
6. 反応速度と温度との関係(~~Arrheniusの式~~)を説明できる。
7. 代表的な触媒反応(酸・塩基触媒反応、酵素反応など)について説明できる。

C2 化学物質の分析

GIO 化学物質（医薬品を含む）をその性質に基づいて適切に分析できるようになるために、物質の定性、定量などに必要なに関する基本的事項知識と技能を修得する。

(1) 分析の基礎

GIO 化学物質を正確に分析できるようになるために、の分析に用いる器具の使用法と、得られる測定値の取り扱いに関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①分析の基本】

1. 分析に用いる器具を正しく使用できる。(知識・技能)
2. 測定値を適切に取り扱うことができる。(知識・技能)
3. 分析法のバリデーションについて説明できる。

(2) 化学平衡の応用溶液中の化学平衡

GIO 水溶液中での物質の性質を理解するために、各種の溶液中の化学平衡に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①酸・塩基平衡】

1. 酸・塩基平衡の概念とpHおよび解離定数について説明できる。
2. pHおよび解離定数について説明できる。(知識・技能)
23. 溶液のpHを測定できる。(技能)
34. 緩衝作用や緩衝液について説明できる。

【②各種の化学平衡】

1. 錯体・キレート生成平衡について説明できる。
2. 沈殿平衡（溶解度と溶解度積）について説明できる。
3. 酸化還元平衡について説明できる。
4. 分配平衡について説明できる。
5. ~~イオン交換について説明できる。~~

(3) 化学物質の定性分析・定量分析

GIO 試料中に存在する特定の化学物質を確認し、その量を正確に知るために、化学物質の定性分析および定量分析に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①定性分析】

1. 代表的な無機イオンの定性反応を説明できる。

2. 日本薬局方収載の代表的な医薬品の確認試験を列挙し、その内容を説明できる。

【②定量分析（容量分析・重量分析）】

1. 中和滴定（非水滴定を含む）の原理、操作法および応用例を説明できる。
2. キレート滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。
3. 沈殿滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。
4. 酸化還元滴定の原理、操作法および応用例を説明できる。
5. 日本薬局方収載の代表的な医薬品の容量分析を実施できる。（知識・←技能）
6. 日本薬局方収載の代表的な純度試験を列挙し、その内容を説明できる。
7. 日本薬局方収載の重量分析法の原理および操作法を説明できる。

(4) 機器を用いたる分析法

GIO 化学物質の構造およびその量を知るために、各種機器を用いたる分析法の原理とその応用に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①分光分析法】

1. 紫外可視吸光度測定法の原理および応用例を説明できる。
2. 蛍光光度法の原理および応用例を説明できる。
3. 赤外吸収（IR）スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。
4. 原子吸光光度法、誘導結合プラズマ（ICP）発光分光分析法および ICP 質量分析法の原理および応用例を説明できる。
5. 旋光度測定法（旋光分散）の原理および応用例を説明できる。
6. 分光分析法を用いて、日本薬局方収載の代表的な医薬品の分析を実施できる。（技能）

【②核磁気共鳴（NMR）スペクトル測定法】

1. 核磁気共鳴（NMR）スペクトル測定法の原理および応用例を説明できる。

【③質量分析法】

1. 質量分析法の原理および応用例を説明できる。
2. ~~質量分析法で用いるイオン化法の原理を説明できる。~~

【④ X線分析法】

1. X線結晶解析の原理および応用例を概説できる。
2. 粉末X線回折測定法の原理と利用法について概説できる。

【⑤熱分析】

1. 熱重量測定法の原理を説明できる。
2. 示差熱分析法および示差走査熱量測定法について説明できる。

(5) 分離分析法

GIO 試料に含まれる物質を物理化学的性質の違いによって適切に分離し定性・定量するために、各種分離分析法に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①クロマトグラフィー】

1. クロマトグラフィーの分離機構を説明できる。
2. 薄層クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。
3. 液体クロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。
4. ガスクロマトグラフィーの特徴と代表的な検出法を説明できる。
5. クロマトグラフィーを用いて試料を定性・定量できる。(知識・技能)

【②電気泳動法】

1. 電気泳動法の原理および応用例を説明できる。

(6) 分析技術の臨床応用臨床現場で用いる分析技術

GIO 臨床現場で分析技術を適切に応用するために、用いる代表的な分析法技術のに関する基本的事項知識を修得する。

【①分析の準備】

1. 分析目的に即した試料の前処理法を説明できる。
2. 臨床分析における精度管理および標準物質の意義を説明できる。

【②分析技術】

1. 臨床分析の分野で用いられる代表的な分析法を列挙できる。
2. 免疫化学的測定法の原理を説明できる。
3. 酵素を用いた代表的な分析法の原理を説明できる。
4. 代表的なドライケミストリーについて概説できる。
5. 代表的な画像診断技術（X線検査、MRI、超音波、内視鏡検査、核医学検査など）について概説できる。

C3 化学物質の性質と反応

G10 ~~化学物質（医薬品および生体分子を含む）の基本的な性質と反応性を理解するために、代表的な有機化合物と無機化合物の構造、物性、反応、分離法、構造決定法などに関する基本的事項を修得する。~~

化学物質を理解できるようになるために、代表的な有機化合物の構造、性質、反応、分離法、構造決定法、および無機化合物の構造と性質に関する基本的事項を修得する。

(1) 化学物質の基本的性質

G10 ~~基本的な有機化合物の構造、命名法、物性、反応性を関連づけて理解するために、電子配置、電子密度、化学結合や立体構造などに関する基本的事項を修得する。~~

基本的な有機化合物の命名法、電子配置、反応、立体構造などに関する基本的事項を修得する。

【①基本事項】

1. 代表的な化合物を IUPAC 規則に基づいて命名することができる。
2. 薬学領域で用いられる代表的な化合物を慣用名で記述できる。
3. 基本的な化合物を、ルイス構造式で書くことができる。
4. ~~有機化合物の性質に及ぼす共鳴の影響について説明できる。~~
有機化合物の性質と共鳴の関係について説明できる。
5. ~~基本的な有機反応（置換、付加、脱離など）の特徴を理解し、分類できる。~~
ルイス酸・塩基、ブレンステッド酸・塩基を定義することができる。
6. ~~ルイス酸・塩基を、ブレンステッド酸・塩基と比較して定義することができる。~~
基本的な有機反応（置換、付加、脱離など）の特徴を理解し、分類できる。
7. 炭素原子を含む反応中間体（カルボカチオン、~~カルバニオン~~、カルボアニオン、ラジカル）の構造と性質を説明できる。
8. 反応の進行過程を、エネルギー図を用いて説明できる。
9. 基本的な有機反応機構を、電子の動きを示す矢印を用いて表すことができる。（技能）

【②有機化合物の立体構造】

1. 構造異性体と立体異性体の違いについて説明できる。
2. 不斉キラリティーと光学活性の関係を概説できる。
3. エナンチオマーとジアステレオマーについて説明できる。
4. ラセミ体とメソ体について説明できる。
5. ~~絶対配置の表示法を説明できる。~~し、キラル化合物の構造を書くことができる。（知識、技能）
6. 炭素—炭素二重結合の立体異性（cis, transならびに E,Z異性）（cis, transならびに E,Z異性）について

て説明できる。

7. フィッシャー Fischer 投影式と ニューマン Newman 投影式を用いて有機化合物の構造を書くことができる。(技能)
8. エタン、ブタンの立体配座とその安定性について説明できる。

(2) 有機化合物の基本骨格の構造と反応

GIO 脂肪族および芳香族化合物の性質と反応を理解するために、それぞれの基本構造、物性、反応性などに関する基本的事項を修得する。

有機化合物の基本骨格となる脂肪族および芳香族化合物の構造、性質、反応性などに関する基本的事項を修得する。

【①アルカン】

1. アルカンの基本的な物性性質について説明できる。
2. アルカンの構造異性体を図示することができる。(技能)
3. シクロアルカンの環の歪みひずみを決定する要因について説明できる。
4. シクロヘキサンのいす形配座における水素の結合方向 (アキシアル、エクアトリアル) を図示できる。(技能)
5. 置換シクロヘキサンの安定な立体配座を決定する要因について説明できる。

【②アルケン・アルキン】

1. アルケンへの代表的な付加反応を列挙し、その特徴を説明できる。
2. アルケンの代表的な酸化、還元反応を列挙し、その特徴を説明できる。
3. アルキンの代表的な反応を列挙し、その特徴を説明できる。

【③芳香族化合物】

1. 代表的な芳香族炭化水素化合物を列挙し、その物性性質と反応性を説明できる。
2. 芳香性 (Hückel 則) の概念を説明できる。
3. 芳香族炭化水素化合物の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。
4. 代表的な芳香族複素環化合物の性質を芳香族性と関連づけて説明できる。
5. 代表的な芳香族複素環の求電子置換反応の反応性、配向性、置換基の効果について説明できる。

(3) 官能基の性質と反応

GIO 官能基が有機化合物に及ぼす効果を理解するために、カルボニル基、アミノ基などの官能基を有する有機化合物について、物性、反応性に関する基本的事項を修得する。

官能基を有する有機化合物の性質、反応性に関する基本的事項を修得する。

【①概説】

1. 代表的な官能基を列挙し、生体内高分子と薬物の相互作用における各官能基の役割を説明できる。性質を説明できる。
2. 官能基の性質を利用した分離精製を実施できる。(技能)

【②有機ハロゲン化合物】

1. 有機ハロゲン化合物の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。
2. 求核置換反応の特徴について説明できる。
3. 脱離反応の特徴について説明できる。

【③アルコール・フェノール・エーテル】

1. アルコール、フェノール類の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。
2. エーテル類の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。

【④アルデヒド・ケトン・カルボン酸・カルボン酸誘導体】

1. アルデヒド類およびケトン類の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。
2. カルボン酸の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。
3. カルボン酸誘導体（酸ハロゲン化物、酸無水物、エステル、アミドなど）の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。

【⑤アミン】

1. アミン類の代表的基本的な性質と反応を列挙し、説明できる。

~~【電子効果・酸性度・塩基性度】~~

- ~~1. 官能基が及ぼす電子効果について概説できる。~~
- ~~2. アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。~~
- ~~3. 含窒素化合物の塩基性度を説明できる。~~

【⑥電子効果】

1. 官能基が及ぼす電子効果について概説できる。

【⑦酸性度・塩基性度】

1. アルコール、フェノール、カルボン酸、炭素酸などの酸性度を比較して説明できる。
2. 含窒素化合物の塩基性度を比較して説明できる。

(4) 化学物質の構造決定

G10 医薬品や生体分子の構造決定を理解するために、核磁気共鳴(NMR)、赤外吸収(IR)、質量分析(MS)などの代表的な機器分析法の基本的事項と構造決定法を修得する。
代表的な機器分析としての核磁気共鳴(NMR)、赤外吸収(IR)、質量分析による構

造決定法の基本的事項を修得する。

【総論】

1. 化学物質の構造決定に用いられる機器分析法の特徴を概説できる。

【①核磁気共鳴 (NMR)】

1. ^1H および ^{13}C NMR スペクトルより得られる情報を概説できる。
2. 有機化合物中の代表的プロトンについて、おおよその化学シフト値を示すことができる。
3. ^1H NMR の積分値の意味を説明できる。
4. ^1H NMR シグナルが近接プロトンにより分裂 (カップリング) する基本的な分裂様式を説明できる。
5. 代表的な化合物の部分構造を ^1H NMR から決定できる。(技能)

【②赤外吸収 (IR)】

1. IR スペクトルより得られる情報を概説できる。
2. IR スペクトル上の基本的な官能基の特性吸収を列挙し、帰属することができる。(知識・技能)

【③質量分析】

1. 質量分析マスペクトルより得られる情報を概説できる。
2. イオン化の方法を列挙し、それらの特徴を概説できる。測定化合物に適したイオン化法を選択できる。
(技能)
3. ピークの種類 (基準ピーク、分子イオンピーク、同位体ピーク、フラグメントピーク) を説明できる。
4. 基本的な代表的な化合物のマスペクトルを解析できる。(技能)

【④総合演習】

1. 代表的な機器分析法を用いて、基本的な代表的な化合物の構造決定ができる。(技能)

(5) 無機化合物・錯体の構造と性質機能

G10 ~~医薬品や生体分子に含まれる無機化合物・錯体の性質や機能を理解するために、代表的な無機化合物・錯体の構造、物性、生体内機能に関する基本的事項を修得する。~~

代表的な無機化合物・錯体(医薬品を含む)の構造、性質に関する基本的事項を修得する。

【①無機化合物・錯体】

1. 代表的な典型元素と遷移元素を列挙できる。
2. 代表的な無機酸化物、オキシ化合物の名称、構造、性質を列挙できる。
3. 活性酸素と活性窒素窒素酸化物の名称、構造、性質を列挙できる。
4. 代表的な錯体の名称、構造、基本的な性質を説明できる。
5. 医薬品として用いられる代表的な無機化合物、および錯体を列挙できる。

04 生体分子・医薬品をの化学でによる理解する

G10 医薬品の標的となる生体分子の機能を理解するために、生体分子の基本構造とその化学的な性質に関する基本的事項を修得する。

医薬品の生体内での作用を化学的に理解できるようになるために、医薬品標的および医薬品の構造と性質、生体反応の化学に関する基本的事項を修得する。

(1) 医薬品の標的となる生体分子の構造と化学的な性質

G10 医薬品の標的となる生体分子の機能を理解するために、生体分子の基本構造とその化学的な性質に関する基本的事項を修得する。

医薬品の標的となる生体分子の基本構造と、その化学的な性質に関する基本的事項を修得する。

【①医薬品の標的となる生体構成分子生体高分子の化学構造】

1. 代表的な生体高分子を構成する低小分子（アミノ酸、糖、脂質、ヌクレオチドなど）の構造に基づく化学的性質を説明できる。
2. 医薬品の標的となる生体高分子（タンパク質、核酸など）の立体構造とそれを規定する化学結合、相互作用について説明できる。

【②生体内で機能する小分子】

1. 細胞膜受容体および転写因子型受容体細胞内(核内)受容体の代表的な内因性リガンドの構造と性質について概説できる。
2. 代表的な補酵素の構造に基づく化学的性質を説明できる。が酵素反応で果たす役割について、有機反応機構の観点から説明できる。
3. 活性酸素、活性窒素一酸化窒素の構造に基づく生体内反応を化学的に説明できる。
4. 生体内に存在する代表的な金属イオンおよび錯体の機能を化学的に説明できる。

(2) 生体反応をの化学でによる理解する

G10 医薬品の生体内での作用を理解し、生体反応を化学に基づいて説明するための基本的事項を修得する。

医薬品の作用の基礎となる生体反応の化学的理解に関する基本的事項を修得する。

【①生体内で機能するリン、硫黄化合物】

1. リンおよび硫黄化合物の化学的特徴を窒素化合物および酸素化合物と比較して説明できる。リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の構

造と化学的性質を説明できる。

2. リンおよび硫黄化合物の化学的性質に基づく生体内での機能を説明できる。

リン化合物(リン酸誘導体など)および硫黄化合物(チオール、ジスルフィド、チオエステルなど)の生体内での機能を化学的性質に基づき説明できる。

【②酵素阻害剤と作用様式】

1. 自殺基質が不可逆的阻害薬となること不可逆的酵素阻害薬の作用を酵素の反応機構に基づいて説明できる。
2. 基質模倣体アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。
3. 遷移状態模倣体アナログが競合阻害薬となることを酵素の反応機構に基づいて説明できる。

【③受容体のアゴニストおよびアンタゴニスト】

1. 代表的な受容体のアゴニスト(作用薬、作動薬、刺激薬)とアンタゴニスト(拮抗薬、遮断薬)との相違点について、内因性リガンドの構造と比較して説明できる。
2. 低分子内因性リガンド誘導体が医薬品として用いられている理由を説明できる。

【④生体内で起こる有機反応】

1. 代表的な生体分子(脂肪酸、コレステロールなど)の代謝反応を有機化学の観点から説明できる。
2. 異物代謝の反応(発がん性物質の代謝的活性化など)を有機化学の観点から説明できる。

(3) 医薬品の化学構造と性質、作用

G10 医薬品の作用を化学構造と関連づけて理解するために、医薬品に含まれる代表的な構造とその性質に関する基本的事項を修得する。

医薬品に含まれる代表的な構造およびその性質を医薬品の作用と関連づける基本的事項を修得する。

【①医薬品と生体分子の相互作用】

1. 医薬品と生体分子との結合親和性の強弱と自由エネルギー変化の関係について具体的な例を用いて説明できる。
1. 医薬品と生体分子との相互作用を有機化学的な観点(結合親和性と自由エネルギー変化、電子効果、立体効果など)から説明できる。

【②医薬品の化学構造に基づく性質】

1. 医薬品の構造からその物理化学的性質(酸性、塩基性、疎水性、水溶性親水性など)を説明できる。
2. プロドラッグなどの薬物動態を考慮した医薬品の化学構造について説明できる。

【③医薬品のコンポーネント】

1. 代表的な医薬品のコア構造(ファーマコフォア)について概説できる。

2. 生物学的等価体 (バイオアイソスター) (生物学的等価体) について、代表的な例を挙げて概説できる。
3. 医薬品に含まれる代表的な複素環を構造に基づいて分類し、医薬品コンポーネントとしての性質を説明できる。

【④酵素に作用する医薬品の構造と性質】

- ~~1. 酵素に作用する医薬品の代表的な基本構造を挙げて、説明できる。~~
1. ヌクレオシドおよびヌクレオチド核酸塩基アナログを有する代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
2. フェニル酢酸、フェニルプロピオン酸構造などをもつ代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
3. スルホンアミド構造をもつ代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
4. キノロン骨格をもつ代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
5. β -ラクタム構造をもつ代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
6. ペプチドアナログの代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。

【⑤受容体に作用する医薬品の構造と性質】

- ~~1. 受容体に作用する医薬品の代表的な基本構造を挙げて、説明できる。~~
1. カテコールアミン骨格を有する代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
2. アセチルコリンアナログの代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
3. ステロイドアナログの代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
4. ベンゾジアゼピン骨格およびバルビタール骨格を有する代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。
5. オピオイドアナログの代表的医薬品を挙げて、化学構造に基づく性質について説明できる。

【⑥DNA に作用する医薬品の構造と性質】

- ~~1. DNA に作用する医薬品の代表的な基本構造を挙げて、説明できる。~~
1. DNA と共有結合する医薬品 (アルキル化剤、シスプラチン類)を挙げて、それらの化学構造と反応機構を説明できる。
2. DNA にインターカレートする医薬品を挙げて、それらの構造上の特徴を説明できる。
3. DNA 鎖を切断する医薬品を挙げて、それらの構造上の特徴を説明できる。

【⑦イオンチャンネルに作用する医薬品の構造と性質】

1. イオンチャンネルに作用する医薬品の代表的な基本構造を挙げて、説明できる。(ジヒドロピリジンなど)の特徴を説明できる。

C5 自然が生み出す薬物

GIO 自然界に存在する物質を医薬品として利用できるようになるするために、代表的

な生薬の基原、特色、臨床応用および天然生物活性物質の作用、単離、構造、物性、作用などに関する基本的事項を修得する。

(1) 薬になる動植物

G10 薬として用いられる動物、植物、鉱物および藻類、菌類由来の生薬の基本的性質を理解するために、それらの基原、性状、含有成分、品質評価などに関する基本的事項を修得する。

【①薬用植物】

1. 代表的な薬用植物の学名、薬用部位、薬効などを挙げることができる。
2. 代表的な薬用植物や有毒植物を外部形態および内部形態から説明し、区別できる。(知識、技能)
3. 植物の主な内部形態について説明できる。
4. 法律によって取り扱いが規制されている植物(ケシ、アサ)の特徴を説明できる。

【②生薬の基原】

1. 日本薬局方記載の植物を基原とする代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類由来)を列挙し、その基原植物、薬用部位を説明できる。
- ~~2. 動物を基原とする代表的な生薬を列挙し、その基原動物、薬用部位を説明できる。~~
- ~~3. 代表的な薬用植物や有毒植物を外部形態および内部形態から説明し、区別できる。~~
- ~~4. 代表的な薬用植物の学名、薬効などを挙げることができる。~~
- ~~5. 法律によって取り扱いが規制されている植物の特徴を説明できる。~~

【③生薬の用途】

1. 日本薬局方記載の植物を基原とする代表的な生薬(植物、動物、藻類、菌類、鉱物由来)の薬効、成分、用途などを説明できる。
- ~~2. 動物を基原とする代表的な生薬の薬効、成分、用途などを説明できる。~~
- ~~3. 藻類、菌類を基原とする代表的な生薬を列挙し、その薬効、成分、用途などを説明できる。~~
- ~~4. 鉱物由来の代表的な生薬を列挙し、その薬効、成分、用途などを説明できる。~~
2. 副作用や使用上の注意が必要な代表的な生薬を列挙し、説明できる。

【④生薬の同定と品質評価】

- ~~1. 5.~~ 生薬の同定と品質評価法について概説できる。
- ~~2. 1.~~ 日本薬局方の生薬総則および生薬試験法について説明できる。
- ~~3. 2.~~ 代表的な生薬を鑑別できる。(技能)
- ~~4. 3.~~ 代表的な生薬の確認試験を説明できる。
- ~~5. 4.~~ 代表的な生薬の純度試験を説明できる。

(2) 薬の宝庫としての天然物

GIO 医薬品資源としての天然物の重要性と多様性を理解するために、複雑で多様な天然生物活性物質を構造によって分類・整理するとともに、天然生物活性物質の利用に関する基本的事項を修得する。

【①生薬由来の生物活性物質の構造と作用】

1. 生薬由来の代表的な生物活性物質を化学構造に基づいて分類し、それらの生合成経路を概説できる。
2. 脂質や糖質に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明挙げることができる。
3. 芳香族化合物に分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明挙げることができる。
4. テルペノイド、ステロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明挙げることができる。
5. アルカロイドに分類される生薬由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明挙げることができる。

【②微生物由来の生物活性物質の構造と作用】

1. 微生物由来の生物活性物質を化学構造に基づいて分類できる。
2. 微生物由来の代表的な生物活性物質を列挙し、その作用を説明挙げることができる。

【③天然生物活性物質の取扱い】

1. 天然生物活性物質の代表的な抽出法、分離精製法を概説列挙し、実施できる。(知識、技能)

【④天然生物活性物質の利用】

1. 医薬品として使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明挙げることができる。
2. 天然生物活性物質を基に化学修飾等により開発された代表的な医薬品を列挙し、その用途、リード基原化合物を説明挙げることができる。
3. 農薬や化粧品などとして使われている代表的な天然生物活性物質を列挙し、その用途を説明挙げることができる。

C6 生命現象の基礎

GIO 生命現象を細胞レベル、分子レベルで理解するために、~~できるようにするために、~~生命体の最小単位である細胞の成り立ちや生命現象を担う分子に関する基本的事項を修得する。

(1) 細胞の構造と機能

GIO 細胞を構成する生命体を構成する細胞について、~~の成り立ちを理解するために、~~細胞膜、細胞内小器官、細胞骨格などの構造と機能に関する基礎本的事項を修得する。

【①細胞膜】

1. 細胞膜を構成する代表的な生体成分を列挙し、~~その機能を分子レベルでの構造と性質について説明~~できる。
2. エンドサイトーシスとエキソサイトーシスについて説明できる。

【②細胞内小器官】

1. 細胞内小器官（核、ミトコンドリア、小胞体、リソソーム、ゴルジ体、ペルオキシソームなど）やリボソームの構造と機能を説明できる。

【③細胞骨格】

1. 細胞骨格の構造と機能を説明できる。

~~【④細胞の形態観察】~~

- ~~1. 代表的な細胞、組織を顕微鏡を用いて観察できる。(技能)~~

(2) 生命現象を担う分子

GIO 生命の活動単位としての細胞の成り立ちを分子レベルで理解するために、~~その構成~~生命現象を担う分子の構造、生合成、性質、性状、機能役割に関する基本的事項を修得する。

【①脂質】

1. 代表的な脂質の種類、構造、性質、役割を説明できる。

【②糖質】

1. 代表的な単糖、二糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。
2. 代表的な多糖の種類、構造、性質、役割を説明できる。

【③アミノ酸】

1. アミノ酸を列挙し、その構造に基づいて性質を説明できる。

【④タンパク質】

1. タンパク質の構造（一次、二次、三次、四次構造）と性質を説明できる。

【⑤ヌクレオチドと核酸】

1. ヌクレオチドと核酸（DNA、RNA）の種類、構造、性質構造と役割を説明できる。
2. DNAを抽出できる。（技能）

【⑥ビタミン】

1. 代表的なビタミンの種類、構造、性質、役割生理機能を説明できる。

【⑦微量元素】

1. 代表的な必須微量元素の種類、役割を説明できる。

【⑧⑦生体分子の定性、定量】

1. 脂質、糖質、アミノ酸、タンパク質、もしくは核酸タンパク質以外の代表的な生体分子の定性または定量試験法を実施できる。（技能）

(3) 生命活動を担うタンパク質

G10 生命活動のを担い手であるうタンパク質、酵素について、理解するために、の構造、性質、性状、機能、代謝についての関する基本的事項を修得する。

【①タンパク質の構造と機能】

1. 多彩な機能をもつタンパク質の主要な機能（酵素、受容体、シグナル分子、膜輸送体、運搬・輸送タンパク質、貯蔵タンパク質、構造タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、調節タンパク質）を列挙し概説できる。
2. タンパク質の機能発現に必要な翻訳後修飾について説明できる。

【②タンパク質の成熟と分解】

1. タンパク質の翻訳後の成熟過程（細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾）について説明できる。
2. タンパク質の細胞内での分解について説明できる。

【③②酵素】

1. 酵素反応の特性と反応速度論を説明できる。
2. 酵素反応における補酵素、微量元素の役割を説明できる。
3. 代表的な酵素活性調節機構を説明できる。
4. 酵素反応速度を測定し、解析あるいは、計算できる。（技能）

【④③酵素以外のタンパク質】

1. 膜輸送体の種類、構造、機能を説明できる。
2. 血漿リポタンパク質の種類、構造、機能を説明できる。

【④タンパク質の取扱い】

1. ~~タンパク質の定性、定量試験法を実施できる。(技能)~~
2. ~~タンパク質の分子量測定法を実施できる。(技能)~~

(4) 生命情報を担う遺伝子

GIO 生命情報の伝達を理解するために、を担う遺伝子の複製、発現と、そのそれらの制御に関する基本的事項を修得する。

【①概論】

1. 遺伝情報の保存と発現の流れを説明できる。~~遺伝子発現に関するセントラルドグマについて概説できる。~~
2. DNA、遺伝子、染色体、ゲノムとは何かを説明できる。

【②遺伝情報を担う分子】

1. 染色体の構造 (ヌクレオソーム、クロマチン、セントロメア、テロメアなど) を説明できる。
2. 遺伝子の構造 (プロモーター、エンハンサー、エキソン、イントロンなど) を説明できる。
3. RNAの種類 (hnRNA、mRNA、rRNA、tRNA など) と機能について説明できる。

【③遺伝子の複製】

1. DNAの複製の過程について説明できる。

【④転写・翻訳の過程と調節】

1. DNAからRNAへの転写の過程について説明できる。
2. エピジェネティックな転写制御について説明できる。
3. 転写因子による転写制御について説明できる。
4. RNAのプロセッシング (キャップ構造、スプライシング、snRNP、ポリ A 鎖など) について説明できる。
5. RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。

【④転写とRNAプロセッシング】

1. ~~RNAの種類 (mRNA、rRNA、tRNA) と働きについて説明できる。~~
2. ~~遺伝子のRNAへの転写開始と転写制御の機構について説明できる。~~
3. ~~RNAのプロセッシングと小型RNA (snRNA、miRNA) による調節について説明できる。~~

【⑤翻訳】

1. ~~RNAからタンパク質への翻訳の過程について説明できる。~~

【⑤⑥遺伝子の変異・修復】

1. DNAの変異と修復について説明できる。

【⑥⑦組換えDNA】

1. 遺伝子工学技術（遺伝子クローニング、cDNAクローニング、PCR、組換えタンパク質発現法など）を概説できる。の概要を説明できる。
2. 遺伝子改変生物（遺伝子導入・欠損動物、クローン動物、遺伝子組換え植物）の作製法や利用法について概説できる。

(5) 生体エネルギーと生命活動を支える代謝系

GIO 生命活動が生体エネルギーにより支えられていることを理解するために、の産生、貯蔵、利用、エネルギーの産生、およびこれらを担う糖質、脂質、タンパク質、核酸の代謝に関する基本的事項を修得する。

【①生体エネルギー概論】

1. エネルギー代謝の概要を~~（エネルギー運搬体を中心に）~~説明できる。

【②ATPの産生と糖質代謝】

1. 解糖系及び乳酸の生成とその生理的役割について説明できる。
2. クエン酸回路(TCAサイクル)について説明できる。
3. 電子伝達系(酸化リン酸化)とATP合成酵素について説明できる。
4. ~~ペントースリン酸回路について説明できる。~~
4. グリコーゲンの代謝について説明できる。
5. 糖新生について説明できる。

【③脂質代謝】

1. 脂肪酸の生合成と β 酸化反応について説明できる。
2. コレステロールの生合成と代謝について説明できる。

【④飢餓状態と飽食状態】

1. 飢餓状態のエネルギー代謝（ケトン体の利用など）について説明できる。
2. 余剰のエネルギーを蓄えるしくみを説明できる。

【⑤その他の代謝系】

1. アミノ酸分子中の炭素および窒素の代謝（尿素回路など）について説明できる。
2. ヌクレオチドの生合成と分解について説明できる。

3. ペントースリン酸回路について説明できる。
4. ~~組織のアミノ酸処理と尿素回路について説明できる。~~

(6) 細胞間コミュニケーションと細胞内情報伝達

GIO 生命現象を細胞の機能とその相互作用に基づいて理解するために、細胞間コミュニケーション及び細胞内情報伝達の方法と役割に関する基礎本的事項を修得する。

【①細胞間コミュニケーション概論】

1. 細胞間コミュニケーションにおける情報伝達様式を説明できる。

【②細胞内情報伝達】

1. 細胞膜チャネル内蔵型受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。
2. 細胞膜受容体からGタンパク系を介する細胞内情報伝達について説明できる。
3. 細胞膜受容体タンパク質などのリン酸化を介する細胞内情報伝達について説明できる。
4. 細胞内情報伝達におけるセカンドメッセンジャーについて説明できる。
5. ~~一酸化窒素による情報を伝達する経路について概説できる。~~
5. 細胞内（核内）受容体を介する細胞内情報伝達について説明できる。

【③細胞間コミュニケーション】

1. 細胞間の接着構造、主な細胞接着分子の種類と特徴を説明できる。
2. 主な細胞外マトリックス分子の種類と特徴を説明できる。

(7) 細胞の分裂と死

GIO 生命体を構成する細胞の一生を理解するために、細胞周期と分裂、細胞死に関する基礎本的事項を修得する。

【①細胞分裂】

1. 細胞周期とその制御機構について説明できる。
2. 体細胞と生殖細胞の細胞分裂について説明できる。

【②細胞死】

1. 細胞死（アポトーシスとネクローシス）について説明できる。

【③がん細胞】

1. 正常細胞とがん細胞の違いについて説明できる。
2. がん遺伝子とがん抑制遺伝子について概説できる。

C7 生命体の成り立ち人体の成り立ちと生体機能の調節

GIO 人体の成り立ちを個体、器官、細胞の各レベルで理解するために、できるようにするために、人体の構造と、機能、調節などに関する基本的事項を修得する。

(1) 人体の成り立ちを構成する器官

GIO 人体の遺伝、発生、および各器官の基本構造を理解するために、各器官系の構造と機能に関する基本的事項を修得する。

【①遺伝】

1. 生殖遺伝子と遺伝のしくみについて概説できる。
2. 遺伝子の変異と進化多型について概説できる。
3. 遺伝学的な違いによる生物多様性について概説代表的な遺伝疾患を概説できる。

【②発生】

1. 個体発生について概説できる。
2. 細胞の分化における幹細胞、前駆細胞の役割について概説できる。

【③器官系概論】

1. ヒトの身人体を構成する器官、器官系の名称、形態、体内での位置および役割分担機能を説明できる。
2. 組織、器官を構成する代表的な細胞の種類（上皮、内皮、間葉系など）を列挙し、形態的および機能的特徴を説明できる。
3. 実験動物・人体模型・シミュレーターなどを用いて各種臓器の名称と位置を確認できる。(技能)
4. 代表的な器官の組織や細胞を顕微鏡で観察できる。(技能)

【④神経系】

1. 中枢神経系について概説できる。
2. 末梢（体性・自律）神経系について概説できる。
3. 自律神経系について概説できる。

【⑤骨格系・筋肉系】

1. 代表的な骨と関節の名称を挙げ、位置を示すことが骨、筋肉について概説できる。
2. 代表的な骨格筋および関節の名称を挙げ、位置を示すことができる。

【⑥皮膚】

1. 皮膚の役割について概説できる。

【⑦循環器系】

1. 心臓の役割について概説できる。
2. 血管系について概説できる。
3. リンパ管系について概説できる。

【⑧呼吸器系】

1. 肺、気管支の役割について概説できる。

【⑨消化器系】

1. 胃、小腸、大腸などの消化管について概説できる。
2. 肝臓、膵臓、胆嚢の役割について概説できる。

【⑩泌尿器系】

1. 泌尿器系について概説できる。

【⑪生殖器系】

1. 生殖器系について概説できる。

【⑫内分泌系】

1. 内分泌系について概説できる。

【⑬感覚器系】

1. 感覚器系について概説できる。

【⑭血液・造血器系】

1. 血液・造血器系について概説できる。

(2) 生体の機能の調節

GIO 生体の維持機構に関わるダイナミックな情報ネットワーク機構を物質や細胞レベルで理解するために、を担う代表的な情報伝達物質の種類、作用発現機構などに関する基本的事項を修得する。

【①神経による調節機構】

1. 神経系細胞の興奮と伝導、シナプス伝達の調節機構について説明できる。
2. 代表的な神経伝達物質を挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。
3. 神経系、感覚器を介するホメオスタシスの調節機構の代表例を列挙し、概説できる。
4. 神経による筋収縮の調節機構について説明できる。

【②ホルモン・内分泌系による調節機構】

1. 代表的なホルモンを挙げ、その産生器官、生理活性および分泌調節作用機構について概説できる。

【③オートコイドによる調節機構】

1. 代表的なオートコイドを挙げ、生理活性および作用機構について概説できる。

【④サイトカイン・増殖因子・ケモカインによる調節機構】

1. 代表的なサイトカイン、増殖因子、ケモカインを挙げ、それらの役割生理活性および作用機構について概説できる。

【⑤血圧の調節機構】

1. 血圧の調節機構について概説できる。

【⑥血糖の調節機構】

1. 血糖の調節機構について概説できる。

【⑦体液の調節】

1. 体液の調節機構について概説できる。
2. 尿の生成機構、尿量の調節機構について概説できる。

【⑧体温の調節】

1. 体温の調節機構について概説できる。

【⑨血液凝固・線溶系】

1. 血液凝固・線溶系の機構について概説できる。

【⑩性周期の調節】

1. 性周期の調節機構について概説できる。

C8 生体防御と微生物

G10 内的、外的要因によって生体の恒常性が崩れたときに生ずる変化を理解するために、できるようになるために、免疫反応による生体防御機構とその破綻、および代表的な外的要因としての病原微生物に関する基本的事項を修得する。

(1) 身体をまもる

G10 ヒトの主な生体防御反応について、その機構を組織、細胞、分子レベルで理解するために、としての免疫系応答に関する基本的事項を修得する。

【①生体防御反応】

1. 異物の侵入に対する物理的、生理的、化学的バリアー~~(、および補体の役割など)~~について説明できる。
2. 免疫反応の特徴（自己と非自己の識別、特異性、多様性、クローン性、記憶、寛容）を説明できる。
3. 自然免疫と獲得免疫、および両者の関係についてを説明できる。
4. 体液性免疫と細胞性免疫について説明できる。

【②免疫を担当する組織・細胞】

1. 免疫に関与する組織と細胞を列挙し、その役割を説明できる。
2. 免疫担当細胞の種類と役割を説明できる。
3. 免疫反応における主な細胞間ネットワークについて説明できる。

【③分子レベルで見た免疫のしくみ】

1. 自然免疫および獲得免疫における異物の認識を比較してについて説明できる。
2. MHC 抗原の構造と機能および抗原提示経路での役割について説明できる。
3. T 細胞と B 細胞による抗原の認識の多様性（遺伝子再構成）と活性化について説明できる。
4. 抗体分子の基本構造、種類、役割を説明できる。
5. ~~抗原抗体反応を利用した検査法を実施できる。(技能)~~
6. 免疫系に関わる主なサイトカイン、~~ケモカイン~~を挙げ、その作用を概説できる。

(2) 免疫系の制御とその破綻・免疫系の応用

G10 免疫反応に基づく生体の異常を理解するために、代表的な免疫反応応答の制御とその破綻、および免疫反応の臨床応用に関する基本的事項を修得する。

【①免疫応答の制御と破綻】

1. 炎症の一般的症状、担当細胞および反応機構について説明できる。
2. アレルギーを分類し、担当細胞および反応機構について説明できる。

~~【免疫系の破綻】~~

1. ~~自己免疫疾患の特徴と成因について説明できる。~~
2. 自己免疫疾患と免疫不全症候群の特徴と成因について説明概説できる。

~~【免疫応答のコントロール】~~

14. 臓器移植と免疫反応の関わり（拒絶反応、免疫抑制剤など）について説明できる。
25. ~~微生物による感染症と免疫応答との関わりについて説明できる。~~
36. 腫瘍排除に関与する免疫反応について説明できる。

【②免疫反応の利用】~~【予防接種】~~

1. ~~予防接種の原理とワクチンについて説明できる。~~
2. ~~ワクチンの原理と種類（生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイド、混合ワクチンなど）について概説説明できる。~~

【免疫反応の利用】

12. モノクローナル抗体とポリクローナル抗体の作製方法をについて説明できる。
3. 血清療法と抗体医薬について概説できる。
2. 抗原抗体反応を利用した代表的な検査方法の原理を説明できる。
34. 抗原抗体反応を利用した検査方法（ELISA 法、ウエスタンブロット法など）を実施できる。（技能）
沈降、凝集反応を利用して抗原を検出できる。（技能）
4. ELISA 法、ウエスタンブロット法などを用いて抗原を検出、判定できる。（技能）

(3) 微生物の基本

GIO 微生物の基本的性状を理解するために、の微生物の分類、構造、生活史環などに関する基本的知識、およびを修得し、併せて代表的な微生物取扱いのための基本的技能と態度を事項を身につける修得する。

【①総論】

1. 原核生物と、真核生物およびウイルスの違い特徴を説明できる。

【②細菌】

1. 細菌の分類や性質（系統学的分類、グラム陽性菌と陰性菌、好気性菌と嫌気性菌など）を概説説明できる。
2. 細菌の構造と増殖機構について説明できる。
3. 細菌の異化作用（呼吸と発酵）および同化作用について説明できる。
4. 細菌の遺伝子伝達（接合、形質導入、形質転換）について説明できる。
5. 薬剤耐性菌および薬剤耐性化機構について概説できる。
6. 代表的な細菌毒素について説明できる。

【③ウイルス】

1. ウイルスの構造、分類、（DNA 型と RNA 型、エンベロープの有無など）とおよび増殖機構について説明できる。

【④真菌・原虫・蠕虫】

1. 代表的な真菌の性状をについて概説できる。
2. 代表的な原虫および蠕虫の性状をについて概説できる。

【⑤消毒と滅菌】

1. 滅菌、消毒、防腐および殺菌、静菌の概念を説明できる。
2. 主な滅菌法および消毒法について説明できる。

【⑥検出方法】

1. グラム染色を実施できる。（技能）

2. 無菌操作を実施できる。(技能)
3. 代表的な細菌または真菌の分離培養、純培養を実施できる。(技能)
4. ~~細菌の同定に用いる代表的な試験法(生化学的性状試験、血清型別試験、分子生物学的試験など)を実施できる。(技能)~~
5. ~~代表的な細菌を同定できる。(技能)~~

(4) 病原体としての微生物

GIO 感染症を理解するため、ヒトと微生物の関わりおよび病原微生物に関する基本的事項を修得する。

【①感染の成立と共生】

1. ~~感染と共生(腸内細菌など)の成立(感染源、感染経路、侵入門戸など)と共生(腸内細菌など)について説明できる。~~
2. 日和見感染と院内感染について説明できる。

【②代表的な病原微生物病原体】

1. DNA ウイルス (ヒトヘルペスウイルス、~~サイトメガロウイルス~~、~~EB ウイルス~~、~~単純ヘルペスウイルス~~、~~アデノウイルス~~、パピローマウイルス、B型肝炎ウイルスなど) について概説できる。
2. RNA ウイルス (ノロウイルス、ロタウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、A型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、風疹ウイルス、日本脳炎ウイルス、狂犬病ウイルス、ムンプスウイルス、HIV、HTLV など) について概説できる。
3. グラム陽性球菌 (ブドウ球菌、レンサ球菌など) および グラム陽性桿菌 (破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌、炭疽菌、セレウス菌、~~リステリア菌~~、ディフィシル菌など) について概説できる。
4. グラム陰性球菌 (淋菌、髄膜炎菌など) およびグラム陰性桿菌 (大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属菌、チフス菌、~~ペスト菌~~、エルシニア属菌、クレブシエラ属菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、~~ブルセラ菌~~、~~レジオネラ菌~~、インフルエンザ菌など) について概説できる。
5. グラム陰性らせん菌 (ヘリコバクター・ピロリ、カンピロバクター・属菌 ジェジュニ/コリなど) および スピロヘータ について概説できる。
6. 抗酸菌 (結核菌、非結核性抗酸らい菌など) について概説できる。
7. 主なマイコプラズマ、リケッチア、クラミジア、~~スピロヘータ~~ について概説できる。
8. 真菌 (アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル、白癬菌など) について概説できる。
9. 原虫 (マラリア原虫、トキソプラズマ、脛トリコモナス、クリプトスポリジウム、赤痢アメーバなど)、蠕虫 (回虫、鞭虫、アニサキス、エキノコックスなど) について概説できる。
10. ~~プリオン病の特徴と発症機序について概説できる。~~

D 衛生薬学

D1 健康

GIO 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献できるようになるために、現代社会における疾病とその予防、栄養と健康に関する基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 社会・集団と健康

GIO 人々（集団）の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握するために、保健統計と疫学に関する基本的事項知識、技能を修得する。

【①健康と疾病の概念】

1. 健康と疾病の概念の変遷と、その理由を説明できる。

【②保健統計】

1. 集団の健康と疾病の現状およびその影響要因を把握する上での人口統計の意義を概説できる。
2. ~~出生と死亡に関する指標、疾病統計について説明できる。~~
人口統計および傷病統計に関する指標について説明できる。
3. 人口動態（死因別死亡率など）の変遷について説明できる。

【③疫学】

1. 疾病の予防における疫学の役割を説明できる。
2. 疫学の三要因（病因、環境要因、宿主要因）について説明できる。
3. 疫学の種類（記述疫学、分析疫学など）とその方法について説明できる。
4. リスク要因の評価として、オッズ比、相対危険度、寄与危険度および信頼区間について説明し、計算できる。（知識・技能）

(2) 疾病の予防

GIO 健康を理解し疾病の予防に貢献できるようになるために、感染症、生活習慣病、職業病などについての現状とその予防に関する基本的事項知識、態度を修得する。

【①疾病の予防とは】

1. 疾病の予防について、一次、二次、三次予防という言葉を用いて説明できる。
2. 健康増進政策（「健康日本21」など）について概説できる。

【②感染症とその予防】

1. 現代における感染症（日和見感染、院内感染、~~国際感染症~~、新興感染症、再興感染症など）の特徴について説明できる。
2. 感染症法における、感染症とその分類について説明できる。

3. 代表的な性行為感染症を列挙し、その予防対策について説明できる。
4. 予防接種の意義と方法について説明できる。

【③生活習慣病とその予防】

1. 生活習慣病の種類とその動向について説明できる。
2. 生活習慣病の代表的なリスク要因を列挙し、その予防法について説明できる。
3. 食生活と喫煙などの生活習慣と疾病の関わりについて討議する。(態度)

【④母子保健】

1. 新生児マスキリーニングの意義について説明し、代表的な検査項目を列挙できる。
2. 母子感染する代表的な疾患を列挙し、その予防対策について説明できる。

【⑤労働衛生】

1. 代表的な労働災害、職業病職業性疾病について説明できる。
2. 労働衛生管理について説明できる。

(3) 栄養と健康

GIO 食生活が健康に与える影響を科学的に理解するために、栄養と食品機能、食品衛生に関する基本的事項知識と技能を修得する。

【①栄養】

1. 五大栄養素(~~三大栄養素、ビタミン、ミネラルなど~~)を列挙し、それぞれの役割について説明できる。
2. 各栄養素の消化、吸収、代謝のプロセスを概説できる。
3. 食品中の三大栄養素の栄養的な価値を説明できる。
4. 三五大栄養素以外の食品成分(食物繊維、抗酸化物質など)の機能について説明できる。
5. エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味を説明できる。
6. 日本人の食事摂取基準について説明できる。
7. 栄養素の過不足による主な疾病を列挙し、説明できる。
8. 疾病治療における栄養の重要性を説明できる。

【②食品機能と食品衛生】

1. 炭水化物・タンパク質が腐敗変質する機構について説明できる。
2. 油脂が変敗する機構を説明し、油脂の変質試験を実施できる。(知識・技能)
3. 食品の変質を防ぐ方法(保存法)を説明できる。
4. 食品成分由来の発がん性物質を列挙し、その生成機構を説明できる。
5. 代表的な食品添加物を用途別に列挙し、それらの働きを説明できる。
6. 代表的な特別用途食品と保健機能食品を列挙し、その特徴をについて説明できる。
7. 食品衛生に関する法律の重要な項目を列挙し、その内容を法的規制について説明できる。

【③食中毒と食品汚染】

1. 代表的な細菌性・ウイルス性食中毒を列挙し、それらの原因となる微生物の性質、症状、原因食品および予防方法について説明できる。
2. 食中毒の原因となる代表的な自然毒(~~マイコトキシンを含む~~)を列挙し、その原因物質、作用機構、症状の特徴を説明できる。
3. 化学物質(重金属、残留農薬、~~放射性物質~~など)やカビによる食品汚染の具体例を挙げ、ヒトの健康に及ぼす影響を説明できる。

D2 環境

GIO 人々の健康にとってより良い環境の維持と公衆衛生の向上に貢献できるようになるために、化学物質などのヒトへの影響、適正な使用、および地球生態系や生活環境と健康との関わりにおける基本的知識、技能、態度を修得する。

(1) 化学物質・放射線の生体への影響

GIO 化学物質などの生体への有害作用を回避し、適正に使用できるようになるために、化学物質の毒性などに関する基本的事項を修得する知識を修得し、これに関連する基本的技能と態度を身につける。

【①化学物質の毒性】

1. 代表的な有害または乱用される化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセスについて説明できる。
2. 肝臓、腎臓、神経などに特異的に毒性を示す代表的な化学物質を列挙できる。
3. 重金属、~~農薬~~、PCB、ダイオキシンなどの代表的な有害化学物質や農薬の急性毒性、慢性毒性の特徴について説明できる。
4. 重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子について具体例を挙げて説明できる。
5. 薬物の乱用による健康への影響について説明し、討議する。(知識・態度)
6. 代表的な中毒原因物質の解毒処置法を説明できる。
7. 代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)の試験法を列挙し、概説できる。

【②化学物質の安全性評価と適正使用】

1. 個々の化学物質の使用目的に鑑み、適正使用とリスクコミュニケーションについて討議する。適切に使用することを提言できる。(態度)
2. 化学物質の毒性を評価するための主な試験法を列挙し、概説できる。
3. 毒性試験の結果を評価するのに必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOAEL)などについて概説できる。
4. 化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量など)について説明できる。

5. 有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制（化審法、化管法など）を説明できる。

【③化学物質による発がん】

1. 発がん性物質などの代謝的活性化の機構を列挙し、その反応機構を説明できる。
2. 遺伝毒性試験（Ames試験など）の原理を説明し、実施できる。~~（知識・技能）~~
3. 発がんに至る過程（イニシエーション、プロモーションなど）について概説できる。

【④放射線の生体への影響】

1. 電離放射線を列挙し、生体への影響を説明できる。
2. 代表的な放射性核種（天然、人工）と生体との相互作用を説明できる。
3. 電離放射線を防御する方法について概説できる。
4. 非電離放射線（紫外線、赤外線など）を列挙し、生体への影響を説明できる。

(2) 生活環境と健康

GIO 地球生態系や生活環境を保全、維持できるようになるために、環境汚染物質などの成因、試験測定法、生体への影響、汚染防止、汚染除去などに関する基本的事項を修得する知識、技能、態度を身につける。

【①地球環境と生態系】

1. 地球規模の環境問題の成因、人に与える影響について説明できる。
2. 生態系の構成員を列挙し、その特徴と相互関係を説明できる。
3. 化学物質の食物連鎖を介した生物濃縮・環境内動態（生物濃縮など）について例を挙げて説明できる。
4. 地球環境の環境保全に関する国際的な取り組みについて説明できる。
5. 環境問題を人が生態系の一員であることをふまえて環境問題を討議する。（態度）

【②環境保全と法的規制】

1. 典型七公害とその現状、および四大公害について説明できる。
2. 環境基本法の理念を説明できる。
3. 環境汚染（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染など）を防止するための法規制について説明できる。

【③水環境】

1. 原水の種類を挙げ、特徴を説明できる。
2. 水の浄化法、塩素処理について説明できる。
3. 水道水の水質基準の主な項目を列挙し、測定できる。（知識・技能）
4. 下水処理および排水処理の主な方法について説明できる。
5. 水質汚濁の主な指標を列挙し、測定できる。（知識・技能）
6. 富栄養化の原因とそれによってもたらされる問題点を挙げ、対策を説明できる。

【④大気環境】

1. 主な大気汚染物質を列挙し、その推移と発生源、健康影響について説明できる。
2. 主な大気汚染物質を測定できる。(技能)
3. 大気汚染に影響する気象要因(逆転層など)を概説できる。

【⑤室内環境】

1. 室内環境を評価するための代表的な指標を列挙し、測定できる。(知識・技能)
2. 室内環境と健康との関係について説明できる。

【⑥廃棄物】

1. 廃棄物の種類と処理方法を列挙できる。
2. 廃棄物処理の問題点を列挙し、その対策を説明できる。
3. マニフェスト制度について説明できる。